明治卅八年十一月十二日郵便物認可

義和宮の艶福（下）

第二版

讀賣新聞は文學政治など六かしいものゝ外は極やさしくおきすぐ中にも此一頁は女小供の方のため別してやさしく書てあります

お騒染の渡邊樣……義和宮のオンく……夫婦契約の指輪……お玄の祈功行賞……お玉の將來

▲お玉と義和宮　との關係まだ殘々人に知ぬ頃有樂軒の二階に例の通り男女水入らずの對坐ひ西洋料理の献立にハ不似合なる珍味の鍋も焦げ付く臭ひを嗅いで朋輩のお何が間髪半分意地悪にも二階の上り口より大聲にて、お玉さんお騒染の渡邊樣が先刻から階下にお待ちなすつてよと出鱈目に呼び立つれバ髯の先に滴る麦酒の雫と涎を混交せて半打の手巾をびしよ濡にしたる義和宮ハ俄かに氣色を變へて、渡邊樣とハ何者ぞ騒染といふからハ何れ理由のある人ならん、間夫か蛇か蜂の頭かサア眞直に白狀せいと日本通を振廻して詰り問ひ端なく平地に風波を起したる事ありされども結局お何が男女の睦まじきを見て水を差したる惡戯と分り鶯爲の詰ひハ以前に愛らざるのみか斯る處に大切の女を置けばこそ人に妬まれ猜まれて思はぬ障碍も起るなれと義和宮も心に感じ愈々手活の花として詠むるに至りたるなりとか去乍らお何の如き犬に喰れて死ねバ好いと人に罵らるゝも割に合はぬ役廻りと云ふべし

▲三個の指輪　十日程以前に當世向の通とか粋とか呼ばるゝハイカラ連が両三人有樂軒に立寄りしにお玉ハ何喰はぬ顔にて例の如く給仕に出でたるが燦として光る指輪一個ならず二個まで容易ならぬ品と目を注け其手を捉へて點撿すれバ孰れも純金の資石入り特に一個ハ西洋風の夫婦契約に取交すべき抱指環、ルビーの色も鮮かにて紋ハ二ツ巴と云はうか蝴蝶の咬合と云はうか鶯餅の國旗にある形なれバ偖こそ噂に違はずと點頭き合ひたるが其頃ハ朋輩のお文が說客となりて義和宮の許にお百度參りの最中なりしと

▲帷幕の策士　斯くてお玉の帷幕に參し今回の作戰計畫を養勅したるのみならず出でゝ樽俎折衝の大任に當り首尾能く功を奏したるお文ハ陽に何事も知らぬ風を粧ひ四五日前徐所ながら有樂軒より暇を取りしも其實お玉の尻押と云へバ人惡く喧ゆれど論功行賞の格にて義和妃殿下のお附人に採用の詮議と見えたり

▲両女の此後　當分両女の落付く先ハ何處か知らねど殿下も差し當りてお手元不如意何時までもこの樣にてハお玉御前の望みも覺束無し生宿の雲に生れて牛肉店に子孫孝公の末西洋料理の給仕女となりて客のお世辭ながら美郷的なるゝ持囃されし身が如何に男にカッレッなれバとて日本人なら

●葉餅の馳走

（福島縣の図作）

憲政本黨の代議士青地雄太郎氏ハ福島縣の凶作地調査の爲め同地に出張し歸京の上一昨日午後一時憲政本黨本部の委員會に於て調査の顚末を報告し且つ凶作地に於て馳走に與かりたる葉餅を土産として呈出したるが餅の國旗にある形なれバ偖こそ噂に違はずと點頭き合ひたるが其頃ハ朋輩のお文が說客となりて義和宮の許にお百度參りの最中なりしと

三分の一位を切り棄て他を一分位の粉末に揉み得るを程度とし之に粳米二分糯米六分を入れて搗交せ餅となし中の餡を詰りたるハ葉餅の贅澤なる物なり一班常食とするハ容易に咽喉に通らざるより鈍粉と共に苦しき思ひをなしつゝ之を呑むほどなりとハ最と憐れむべき有樣ならずや

▲其筋の調査　に依れバ同縣下に在りてハ比較的良好なる會津一市五郡の收穫を併せ全縣下を通じて平年の約二分八厘六毛作にて即ち平年收穫高百三十二萬五千二百四十石に對し九十四萬五千八百八十七石の減收なりとあるも氏が觀察の結果に依れバ更らに之より甚しきものあり

ぬ蓬林の孤客を羅群の一鶴と見立て魂を打込むも巢ハ皮を剝いで肉を啖かれ肉汁にもならぬ骨だけ投り出されてモウ〳〵懲り〳〵とんだバタを見たと後悔しても追付く話にあらず、牛刀雞を割くハ妾の手の内、そんなハマハ致しませぬと云ふかハ知らねど女賢しうして牛賣損ふと云ふ諺もあるも以上二十一個町村、相馬郡ハ二十五個町村以上十七個町村、一分以上十一個町村、一分以下八個町村、一分以下五個町村、宮城郡ハ三十四個町村、一分以上二十九個町村、中一分以下五個町村、一分以上二十九個町村にして會津地方を除けバ約一分五厘乃至一分三厘作に過ぎざるべし又各郡を通じ

▲中位　なる安達郡ハ三十七年度收穫一戸宛七石五斗二升一人宛一石一升七合五夕なりしも本年ハ平均一戸宛九斗五升七合一人宛一斗九升五合九夕に過ぎず同縣多額納稅者たる岡倉信州氏の如きハ其所有地五十町歩にて平年作千五百俵なるに本年ハ僅々二俵半の收穫ありしのみなると信夫郡水原村の百四十二町歩中百三十八町歩ハ收穫皆無なりしとに徵するも其實況の慘憺たるを推知するに足るべし

●各郡別

にすれバ信夫郡ハ二十八個町村中其半數ハ收穫皆無、餘ハ厘毛以下、伊達郡ハ二十八個町村中收穫皆無一個村、一分以下のもの十二個町村、一分以上十五個村、伊達郡ハ四十一個町村、皆無のもの四十村、一分以下のもの十六個町村、一分以上二十一個町村、一分以上十七個町村、一分以下五個町村、二葉郡ハ十八個町村中一分以下五個町村、一分以上十三個町村、宮城郡ハ三十四個町村、一分以上二十九個町村、中一分以下五個町村、一分以上二十九個町村にして會津地方を除けバ約一分五厘乃至一分三厘作に過ぎざるべし又各郡を通じ

▲中位　なる安達郡ハ三十七年度收穫一戸宛七石五斗二升一人宛一石一升七合五夕なりしも本年ハ平均一戸宛九斗五升七合一人宛一斗九升五合九夕に過ぎず同縣多額納稅者たる岡倉信州氏の如きハ其所有地五十町歩にて平年作千五百俵なるに本年ハ僅々二俵半の收穫ありしのみなると信夫郡水原村の百四十二町歩中百三十八町歩ハ收穫皆無なりしとに徵するも其實況の慘憺たるを推知するに足るべし

●井戸中問答

神田區東紅梅町二番地の洋服裁縫職佐々木源次郎（廿一）ハ昨日の午前二時ごろ仲の好過る女房と何うした機會か爭論を生じた腹立ち紛れ素つ裸のまゝ駈け出して裏の井戸へポカリと飛び込んだ音ハしなかつたが釣瓶縄の軋る音が寂寞とした夜陰に高く響いたので吃驚した女房さアア大變とんだ事になつたと真青になつて最寄の派出所へ訴へ出たから巡査も麁爪らしく尋問してゐる場合でなく角燈おつとるとの問答があつたトヤの末が源次郎ハ最う身体が冷え凍えて我慢が出來ないので／〳〵這ひ上り散々の說諭をされるうちに女房が褞袍を持つて來て着せる驚ぎハラハ大笑ひでハクション……

●外國紙幣

内藤新宿北裏町井戸端地廉芥請負業吉田藤吉ハ一昨日取り集め其中を捨めたるに米國の五圓紙幣現はれ出でしかば直に新宿署へ訴へ出でしが同署にて取調べたるに右の廉芥ハ内藤新宿二丁目新勢州樓より集めたるものと判明し殊に本年五月米國公使館にて盜取されしものと符合するより目下同樓に就て取調中

●航海中の刃傷

諸威國漁船テラモ丸號乘組支那人火夫湯寶（三十）ハ去る一日午後七時頃門司を出帆し横濱に向け航行中同乘組員なる同國人苗旭と喧嘩をなし所持の洋刀を揮つて苗旭に斬り付け腹部外二ヶ所に負傷せしめたるも航海中の事とて其儘となり居りしが一昨日同船が横濱に入港するや否苗旭より水上署へ訴へ出でしかバ湯寶ハ直に引致され取調の末昨日横濱地方裁判所へ送られたり

●軒端の時雨

淺草區龍天町六十三番地靴職米倉新太郎（五十）ハ妻おふで（四十）との間に長女おまつ（十二）二女おたま（八）三女おすゑ（一）の三人の小兒あり續く不景氣に生活も立て兼ね何角と心配するより發狂の氣味となり先頃巣鴨病院に入院したれバ後に殘りしおふでハ生來の不具者なるおまつの外二人の幼兒を抱へ軒端の時雨のそれならで袖に涙の絶る隙なく昨今殆ど絶食の有樣なるより目下淺草署にて救助法の詮議中

●五人組の塩泥坊

兵庫縣赤穗郡酒越村字内酒越船乘中谷長兵衛（六十）同村濱崎武吉（三十）ハ去月中同地の官塩販賣會社より京橋區靈岸島の同販賣所へ向け塩一萬五千俵の運送を依頼せられ濱船明隆丸に積みて去月末越前堀に着したるが彼等ハ同船長港嘉平（三十）と共謀し其内より三百五十俵を盜取し京橋區鍛松町一番地ウロ〳〵船の船頭周世文六（六十）の手を經て同町十一番地の酒商三橋銀次郎（三十）方へ四十二圓に賣却したる事早くも水上署にて探知し去月三十日嘉平文蔵夫郎の三人ハ取押へられしも他ハ郷里へ立歸りたるより同署よりハ同地へ出張し蜜扶斯賣布埜里藺に對し殺菌の効ありとて取調へ一昨夕歸京して昨日両人共捕事局へ送られ

●横濱の出火

横濱市蓬萊町一丁目六番地陶器商田村定次郎酒商村田長吉両家の庇間より發火したるが折柄北風烈しかり盛焔十四日午後五時より替り一番目『空中新婚旅行』二番目史劇『村上彦四郎』上下

已む罪

頗る好評午後四時開場　本郷座

●芝居

▲明治座ハ忠臣藏を演ずるに付力車に目印の小旗を立て一百餘名打揃ふて高輪泉岳寺へ參詣する由▲常磐座ハ來十四日替り初日にて午前九時より替り一番目『空蟬』盛座ハ十四日午後五時より中新婚旅行』二番目史劇『村上彦四郎』上下

●大西白牡丹の新着品

京橋南傳馬町の同店にハ產地と約定せしダイヤモンド及び紅寶石サフヤ等到着せしを最新式の指環ブローチに造り上流貴婦人間の好評を博し居るよし

●ベーラム石鹼の殺菌力

芝區金杉川口町鈴木石鹼製造所發賣のベーラム石鹼ハ消毒のみならず化粧用として高評あるが東京顯微鏡院に依れバ虎列刺菌に對し殺菌の効ありと

●荷車溝に落つ

深川區猿江裏町二百九番地荷馬車輓吉澤道五郎（八）ハ一昨夜十時頃荷馬車を輓いて本所區緑町二丁目裏通を通るとき誤つて同町廿三番地先の大下水へ落つ

●宇都宮店の慰勞會

宇都宮廻送店にハ英國人京及び聯合艦隊凱旋の際滿腔の誠意を以て私財を抛つて歓迎したるが右に付き大學及び商業學校生徒等の之が爲めに盡力したる者五十餘名を招き昨日午後五時より同店に於て慰勞會を開き

●大藏省の慰內

平將門碑文　大藏省携内に在る平將門の遺跡に就ハ既に本紙に記載する所ありしが彼に六百年の昔遊行翼敎坊將門を弔ひ逆阿彌陀佛と號して石碑を建て念佛を殘りしおふでハ生來の不具者なるおまつの外二人の幼兒を抱へ軒端の時雨のそれならで袖に涙の絶る隙なく昨今殆ど絶食の有樣なるより目下淺草署にて救助法の詮議中

●組の塩泥坊

兵庫縣赤穗郡酒越村字内酒越船乘中谷長兵衛（六十）同村濱崎武吉（三十）ハ去月中同地の官塩販賣會社より京橋區靈岸島の同販賣所へ向け塩一萬五千俵の運送を依頼せられ濱船明隆丸に積みて去月末越前堀に着したるが彼等ハ同船長港嘉平（三十）と共謀し其内より三百五十俵を盜取し京橋區鍛松町一番地ウロ〳〵船の船頭周世文六（六十）の手を經て同町十一番地の酒商三橋銀次郎（三十）方へ四十二圓に賣却したる事早くも水上署にて探知し去月三十日嘉平文蔵夫郎の三人ハ取押へられしも他ハ郷里へ立歸りたるより同署よりハ同地へ出張し蜜扶斯賣布埜里藺に對し殺菌の効ありと

●荷車溝に落つ

深川區猿江裏町二百九番地荷馬車輓吉澤道五郎（八）ハ一昨夜十時頃荷馬車を輓いて本所區緑町二丁目裏通を通るとき誤つて同町廿三番地先の大下水へ落つ

●宇都宮店の慰勞會

宇都宮廻送店にハ英國人京及び聯合艦隊凱旋の際滿腔の誠意を以て私財を抛つて歓迎したるが右に付き大學及び商業學校生徒等の之が爲めに盡力したる者五十餘名を招き昨日午後五時より同店に於て慰勞會を開き

●大藏省の慰內

平將門碑文　大藏省携内に在る平將門の遺跡に就ハ既に本紙に記載する所ありしが彼に六百年の昔遊行翼敎坊將門を弔ひ逆阿彌陀佛と號して石碑を建て念佛を殘りしおふでハ生來の不具者なるおまつの外二人の幼兒を抱へ軒端の時雨のそれならで袖に涙の絶る隙なく昨今殆ど絶食の有樣なるより目下淺草署にて救助法の詮議中

●看護婦慰勞會

病院

同會ハ豫記の如く昨日午後一時より芝區愛宕町慈惠病院に於て開かれ來賓にハ有栖川宮妃殿下、伏見宮妃殿下、東伏見宮妃殿下、梨本宮妃殿下を始め奉り東郷大將、及夫人、德川公爵、德川侯爵、毛利公母堂、伊東海軍軍令部長、伊集院同次長、野津伯夫人、佐々木伯、松方伯夫人、澁澤榮一、近藤廉平、添田壽一外無慮八百餘名の諸氏で餘興にハ同院看護婦の三番叟、同元祿五人女、同活人畫、長唄岡安喜三郎等の勸進帳、同院看護婦の桃太郎凱旋踊、同日露幣納、同玉藻前三の作替捕虜愁殘の場、同日英同盟踊、同芝居にハ海軍病院内病室點撿の場等ありてビール、サンドウキッチ、ろこ、おでん、せんべ等の摸擬店なども出來頗る盛會であつた、席上にて高木同院長ハ今回の戰役に際し赤十字肚臨時救護班として出征せし看護婦諸氏を紹介し松方赤十字社長から寄せられた感歎を朗讀し一同充分の歓を盡して散定の盛

●撿問所の閉鎖

飛脚令發布以來市内各區の要所に設けられた撿問所ハ昨日を以て悉く閉鎖する事となれり

●有圖鼠に就て

深川區黑江町廿三番地稻荷神社際に設置しある投鼠箱より發見した鼠ハ一昨日有圖鼠と確定したが同所ハ屢々ペスト患者を出せし場所にして門前山本町及び蛤町との中間に當り病毒の潛伏すべき所なれバ目下其筋にてハ消毒費用に就て協議中の由であるが此際一日も早く費用を支出して消毒せざれバ何時何處より發生するやも計り難しと憂慮するもの多し

●撿問所の閉鎖

飛脚令發布以來市内各區の要所に設けられた撿問所ハ昨日を以て悉く閉鎖する事となれり

●有圖鼠に就て

深川區黑江町廿三番地稻荷神社際に設置しある投鼠箱より發見した鼠ハ一昨日有圖鼠と確定したが同所ハ屢々ペスト患者を出せし場所にして門前山本町及び蛤町との中間に當り病毒の潛伏すべき所なれバ目下其筋にてハ消毒費用に就て協議中の由であるが此際一日も早く費用を支出して消毒せざれバ何時何處より發生するやも計り難しと憂慮するもの多し

●運動界

陸上運動會

珍らしくも馬鹿々々しき運動會なり會場の入口其他にハ何故にや日英両國旗を交叉し特別觀覽席など設けハ殆んど全部を婦人席とし非常に多數の椅子を並べあるも男子席ハ設けなく例の山上竿を作り二人にて稻の束を擔ぎ來り干し終る狀にて滑稽なりき其他スプーン競爭、豆囊送り提灯競爭、千鳥旗送り繭玉通し等女らしく海軍萬歲ハ黄と白との菊を持出でたる二組が綠葉にて作りたる二個の鉢に其の菊を裏む趣向にて氣の利たものなれバ非常の喝采なりき總体に生徒の動作ハ至極活潑なる上に音樂隊の吹奏賑はしくて心地よろしかりし此日朝の程ハ寒を覺えしも一天晴ばかりの雲もなく書頃になりてハそよ吹く風も心地よく無慮三千名も來會し盛會なりしが豫定の如く午後三時過閉會したり

●正誤

昨日の雜報中『觀菊會と將校夫人』と題する記事中觀菊會に召さるゝ戰死將校未亡婦人に白襟紋付を差許さるゝ由に記せしも觀菊會にハ白襟紋付ハ許されず戰死將校未亡人にハ觀菊會の翌日特に拜謁を許され其時ハ白襟紋羽にて差支へなしとの儀なるよし宮内省調査課より申し來たりたれバ正誤す

●編輯日誌

▲十一月十一日（土曜）晴　今日明日ハ、又々諸方に種々の會が多いので、誰れ行け、彼れ行け、之部要の評議とり〳〵で。

●大學

陸上運動會　珍らしくも馬鹿々々しき運動會なり會場の入口其他にハ何故にや日英両國旗を交叉し特別觀覽席など設けハ殆んど全部を婦人席とし非常に多數の椅子を並べあるも男子席ハ設けなく例の山上竿を作り二人にて稻の束を擔ぎ來り干し終る狀にて滑稽なりき其他スプーン競爭、豆囊送り提灯競爭、千鳥旗送り繭玉通し等女らしく海軍萬歲ハ黄と白との菊を持出でたる二組が綠葉にて作りたる二個の鉢に其の菊を裏む趣向にて氣の利たものなれバ非常の喝采なりき總体に生徒の動作ハ至極活潑なる上に音樂隊の吹奏賑はしくて心地よろしかりし此日朝の程ハ寒を覺えしも一天晴ばかりの雲もなく書頃になりてハそよ吹く風も心地よく無慮三千名も來會し盛會なりしが豫定の如く午後三時過閉會したり

●女學校

昨日の運動會　豫記の如く昨日午前八時半より運動會を催したるが門の入口に綠葉菊花にて作りたる鶴先新らしく運動場の門にハ『翠光門』の扁額を掲げ向側の家根の上に『内剛外柔』の大字を現はしたり運動ハ三拍子行進、四拍子行進ハ

●府立第三高等女學校

昨日の運動會　豫記の如く昨日午前八時半より運動會を催したるが門の入口に綠葉菊花にて作りたる鶴先新らしく運動場の門にハ『翠光門』の扁額を掲げ向側の家根の上に『内剛外柔』の大字を現はしたり運動ハ三拍子行進、四拍子行進ハ

●第一高等學校

秋季運動會　昨日午前九時より開會一年生の美容術よりヨチヨロン旗送り等次ぎ〳〵午前の分十四番、初の程ハ見ゆ漏らしつゝ行進ハ整然、輪重競走ハ女子としてハ骨の折れる競走にて俄の重げに持運ばるゝも可笑かりき體鈴体操ハ中々活潑に行はれ、年若き生徒の筒袖にて敢場に立ちしハ大愛嬌、早駆競走四回ハ各學級の生徒玆を先度とこけつまろびつする狀ハ大滑稽なりし最後のカドリールハ佛式、獨式、墨式の三樣にて大勢の割合に手振のよく整ひたるハ偏に土取教諭のお骨折と見ゆ、生徒の出入、カドリールの始終戸山學校軍樂隊諸氏の奏樂ありて一層其運動を引立しめたるを覺ゆ正午休憩、番外のテニスハ白方の旗色よく來觀者の目を引きたり午後にも續々番組面にハ見えたれど左迄ハとて見殘したり番外のカドリールに腕前を見せんと云ふ人々もありたれバ面白き事ならん兎に角萬事整然として餘り騒しからざりし故總ての事を來觀者に快く感せしめたり參觀席に角帽其他の男學生を多く見受たるハ女學校なれバにや

●第一高等學校

秋季運動會　昨日午前九時より開會一年生の美容術よりヨチヨロン旗送り等次ぎ〳〵午前の分十四番、初の程ハ見ゆ漏らしつゝ行進ハ整然、輪重競走ハ女子としてハ骨の折れる競走にて俄の重げに持運ばるゝも可笑かりき體鈴体操ハ中々活潑に行はれ、年若き生徒の筒袖にて敢場に立ちしハ大愛嬌、早駆競走四回ハ各學級の生徒玆を先度とこけつまろびつする狀ハ大滑稽なりし最後のカドリールハ佛式、獨式、墨式の三樣にて大勢の割合に手振のよく整ひたるハ偏に土取教諭のお骨折と見ゆ、生徒の出入、カドリールの始終戸山學校軍樂隊諸氏の奏樂ありて一層其運動を引立しめたるを覺ゆ正午休憩、番外のテニスハ白方の旗色よく來觀者の目を引きたり午後にも續々番組面にハ見えたれど左迄ハとて見殘したり番外のカドリールに腕前を見せんと云ふ人々もありたれバ面白き事ならん兎に角萬事整然として餘り騒しからざりし故總ての事を來觀者に快く感せしめたり參觀席に角帽其他の男學生を多く見受たるハ女學校なれバにや